

六郷米プロジェクト～六郷小学校から六郷の町へ～ 年間計画

【目標】

- 日本の主食として食べられているお米が、昔に比べると食べる量が半分以下になっている事実を知り、六郷の地域からお米の食べる量を増やす。
- 昨年度の5年生が行った米作りの課題を活かし、6年生のためにも六郷小学校としてお米作りを成功させる。

【授業パートナー】

六郷米：山田米店（雑色） パルシステム 株式会社アグリトラスト・ジャパン 宮城米農家 穴守稲荷神社

時期	コンセプト	デザイン	クリエイション			1・2・3月 お米作りを通して
	5月	6月	7月 (1学期)	12月 (2学期)	3月 (3学期)	
六郷米を作ろう	① なぜこの活動を行うのか(出合い) 山田精米店さんからの願い 【六郷小学校のこどもたちにお米を大切にしてほしい。お米をたくさん食べてほしい。】 パルシステムさんからの依頼 【お米作りを通して、農家さんの大変を知り、お米をこれからも残さず食べてほしい。】 昨年度の5年生が行った米作りの課題を6年生のためにも成功させたい	② 何ができるのか?(構想)(設計・企画) (1) バケツ稲でお米作り ・パルシステムさんには、年間を通じてリモートにて米作りの課題を質問し、育てていく。 ・六郷米成長日記を付ける。 →HP上に児童の文章をUPする。(レンジャー) (2) お米作りについて調べる。 株式会社アグリトラスト・ジャパンさん 宮城米農家 羽田米 (3) お米の残飯調べを行う。 (4) お米作りを通して、お米がロスにならないよう「企画考える。」 (5) 昨年度の課題の解決策を考える。	③ 実際にやってみよう(創造・発信) できたお米を山田米店さんに見てもらい、六郷米の評価をしてもらう。			お米作りを通して、分かったことを校内・町内に発信していく。